

第2部 展示・イベント等事業レポート

第3章 その他の事業

国内外での 展示等 協力事業

国内における協力事業

- 「マンガと戦争展」
京都国際マンガミュージアムの企画展として2015年に制作された「マンガと戦争展 6つの視点と3人の原画から」はこれまで、国内1ヶ所、海外2ヶ所に巡回したが、本年度はさらに、国内1ヶ所、海外1ヶ所で巡回展示された。

担当 イトユウ

期間 2023年3月3日[金]–4月9日[日]

会場 山の中の海軍の町 にしき ひみつ基地ミュージアム

主催 錦まち観光協会

協力 京都国際マンガミュージアム/京都精華大学国際マンガ研究センター/
湯前まんが美術館/合志マンガミュージアム

期間 2023年8月17日[月]–9月15日[火]

会場 University of Idaho, Reflections Gallery [アメリカ合衆国・アイダホ州]

主催 University of Idaho, Habib Institute for Asian Studies

協力 京都国際マンガミュージアム/京都精華大学国際マンガ研究センター

「マンガと戦争展」
ひみつ基地ミュージアム展
会場の様子。



「マンガと戦争展」
アイダホ大学展
会場の様子。



- 「Shojo Manga: An Introduction」
国際交流基金ニューデリーの依頼で、2020年に制作した上田としこ、わたなべまさこ、竹宮恵子作品の原画(タッシュ)を紹介する企画展
「Shojo Manga: An Introduction」は、コロナ禍によるロックダウンの為、数日で閉鎖されたが、本年度、インド各地を巡回する展覧会として復活した。

担当	ユースギョン
期間	1
会場	2023年5月7日[日]-22日[月] Gauhati Artists' Guild [インド・グワーハーティー]
期間	2
会場	2023年5月26日[金]-6月6日[火] Jorhat Fine Arts Society [インド・ジョルハート]
期間	3
会場	2023年6月16日[金]-27日[火] The Japan Foundation, New Delhi [インド・ニューデリー]

「Shojo Manga:
An Introduction」
インド・グワーハーティー展
会場の様子。



- 「全国大専校院 台湾漫画日語説書比賽 全国大学台湾漫画知的書評合戦」
京都精華大学がMOUを結んでいる台湾・東呉大学の図書館および日本語文学科と共同で、台湾マンガの理解を深めることと日台の文化交流の促進を目的に企画された。
台湾マンガの書評を日本語で行い、その批評力や語学力、表現力などを競い合う、いわゆるビブリオバトルだが、東呉大学において開催された決勝戦では、国際マンガ研究センターのメンバーが審査員としても参加した。

担当	住田哲郎
決勝戦日時	2023年11月25日[土] 10:00-13:00(日本時間)
会場	東呉大学外雙溪校區第一教學研究大樓
主催	東呉大学/京都精華大学
企画・運営	東呉大学図書館/東呉大学日本語文学科/京都精華大学国際マンガ研究センター
協力	京都国際マンガミュージアム/北九州市漫画ミュージアム/日本台湾交流協会/ 国立台湾歴史博物館ほか

左
それぞれおおすすめの
マンガ作品を手にした
「ビブリオバトル」の
決勝戦進出者たち。
右
イベントパンフレット。



マンガ資料の アーカイブ事業

実施概要 国際マンガ研究センター(IMRC)/京都国際マンガミュージアムは、設立以来、マンガ資料(当初はマンガ刊本、後にマンガ原画)のアーカイブ——〈収集〉〈整理・保存〉〈活用〉——の実践を目的のひとつとしてきた。●2010年度に始まる「メディア芸術情報拠点・コンソーシアム構築事業」以降は、マンガアーカイブの体制を推進するネットワークの構築とハブとなる拠点の確立を目的とする文化庁メディア芸術事業の中心的な役割を、IMRCは担い続けている。●文化庁事業は、産官学連携を通じたメディア芸術の振興を目指してきたが、その結果として、出版社による賛助金の出資と参加を得て、2024年6月に「一般社団法人マンガアーカイブセンター(MAC)」が設立、IMRCのセンター員はその中心的な役割を担っている。

文化庁メディア芸術事業

基本情報

担当

吉村和真(「マンガ刊本アーカイブセンターの実装化と所蔵館ネットワークに関する調査研究」および「マンガ原画アーカイブセンターの実装と所蔵館連携ネットワークの構築に向けた調査研究」統括アドバイザー)/
伊藤遊(同統括アドバイザー支援)

実施概要 文化庁によるメディア芸術アーカイブ事業の第3フェーズと言える「メディア芸術連携基盤等整備推進事業」の4年目の事業として、「マンガ刊本アーカイブセンターの実装化と所蔵館ネットワークに関する調査研究」および「マンガ原画アーカイブセンターの実装と所蔵館連携ネットワークの構築に向けた調査研究」という2つの事業が実施され、IMRC/京都国際マンガミュージアムは、連携機関として参加した。●同事業に関しては、戦略立案および事業評価等にIMRCのセンター員が委員として参画している。

事業一覧

● 「マンガ刊本アーカイブセンターの実装化と所蔵館ネットワークに関する調査研究」

実施事業

(「実施計画書」より)

- ・ マンガ刊本アーカイブセンター(MPAC)の実装及び刊本資料のさらなる利活用推進のための調査研究
- ・ 刊本ネットワーク所蔵リストの構築準備
- ・ 刊本プール資料の仕分と移送に関する作業実験と検証結果の報告
- ・ 原画/刊本事業の合同会議開催

連携機関・団体

- ・ 国立大学法人熊本大学(事業者)
- ・ 明治大学 米沢嘉博記念図書館
- ・ 京都精華大学/京都国際マンガミュージアム
- ・ 北九州市漫画ミュージアム
- ・ 高知まなかBASE
- ・ NPO法人熊本マンガミュージアムプロジェクト/合志市マンガミュージアム
- ・ 少女まなか館

● 「マンガ原画アーカイブセンターの実装と所蔵館連携ネットワークの構築に向けた調査研究」

実施事業

(「事業計画書」より)

- ・ マンガ原画アーカイブセンター(MGAC)の実装と所蔵館連携に向けた調査研究
- ・ 相談窓口の開設
- ・ 所蔵館ネットワークの構築
- ・ 専門人材の育成
- ・ 収益事業及び支援体制構築の調査
- ・ 「集英社マンガアートヘリテージ(SMAH)」との連携による原画保存に関する共同研究の実践
- ・ 原画/刊本事業の合同会議開催

連携機関・団体

- ・ 一般財団法人
横手市増田まなが美術財団(事業主)
- ・ 横手市増田まなが美術館
- ・ 明治大学
- ・ 京都精華大学/京都国際マンガミュージアム
- ・ 北九州市漫画ミュージアム
- ・ 熊本大学
- ・ NPO法人熊本マンガミュージアムプロジェクト
- ・ 鳥取県北栄町
- ・ 石ノ森萬画館
- ・ 湯前まなが美術館

「一般社団法人マンガアーカイブ機構(MAC)」事業

基本情報

担当

吉村和真(MAC理事)/伊藤遊

実施概要 MACからの業務委託事業として、「けいはんなオープンバージョンセンター(KICK)」(京都府相楽郡精華町)におけるマンガ資料(マンガ刊本およびマンガ原画)の「プール」事業を開始した。本年度は、プール(仮預かりおよび簡易整理)のためのインフラ整備と、数万点規模のマンガ本コレクションの受け入れを実施した。

京都国際マンガミュージアム/IMRC所蔵資料 および画像データ提供一覧(2023年1月-12月)

提供一覧

資料名	データ/現物	提供先	用途
・ 上田としこ、わたなべまさこ、竹宮恵子原画(ダッシュ) 30点	現物	国際交流基金	「Shojo Manga: An Introduction」 (於・Gauhati Artists' Guild [インド・グワーハーティー]/ Jorhat Fine Arts Society [インド・ジョルハート]/ The Japan Foundation, New Delhi [インド・ニューデリー]、 5/7-22/5/26-6/6/6/16-27) への出展
・ あさぎり夕「金のカイン」(単行本表紙)原画 ・ あさぎり夕「僕達の始まり」(雑誌「Palette」1994年冬の号掲載)原画 ・ あさぎり夕「なな色マジック」(単行本第6巻表紙)原画 ・ あさぎり夕「なな色マジック」(1988年号数不明「なかよし」掲載原画)原画	現物	角川武蔵野 ミュージアム	「はじめてのBL展」 (於・角川武蔵野ミュージアム エディットアンドアートギャラリー、5/20-7/16) への出展
・ あさぎり夕「なな色マジック」ほか原画58点 ・ あさぎり夕投稿作品批評用紙、同人誌(含・版下)ほか関連資料26点	現物	明治大学 米沢嘉博記念図書館	「あさぎり夕 BL (ボーイズラブ)のはじまり」 (於・明治大学 米沢嘉博記念図書館、 6/23-10/2) への出展
・ 仮名垣魯文、河鍋暁斎『絵新聞日本地』第5号、創刊号、 1874年、表紙	画像データ	東京大学出版会	定村来人 『河鍋暁斎の挑戦 狂画で切り拓いた新時代』 (東京大学出版会、2023年8月)での掲載
・ 作者不詳「当時流好諸喰商人尽」1868年頃	画像データ	E&W	BS朝日 「ノボんタッチ SDGsはじめてます」 「#134 89歳の狩りガールに 青空サロン!女性参加のイノシン対策 で町が豊かに」(6/3放送)にて紹介
・ 東風人・作、織田小星・画「お伽正チャンの冒険」第2巻、 朝日新聞社、1924年 ・ 東風人・作、織田小星・画「正チャンの冒険」(復刻版)、 小学館クリエイティブ、2003年 ・ 「なかよし」1967年8月号、講談社、1967年 ・ 「プチフラワー」1981年5月号、小学館、1981年 ・ 「ビッグコミックフォアレディ」1983年11月号、小学館、1983年 ・ 「ビッグコミックフォアレディ」1987年5月号、小学館、1987年 ・ 田村セツコ原画ダッシュ ほか	現物撮影	トスプランニング	NHK Eテレ 『ザ・バックヤード 知の迷宮の裏側探訪』 「京都国際マンガミュージアム」 (8/9、11/1放送)にて現物紹介
・ 歌川国芳「源頼光公館土蜘蛛妖怪図」1843年 ・ 竹原春潮斎「鳥羽絵欠とめ」1720年 ・ 作者不詳「浮世ハ夢だ夢だ」年代不詳 ・ 歌川芳虎「狐にばかされる」1857年 ・ 「子供バック」創刊号、東京社、1924年 ・ 「少年ジャンプ」創刊号、集英社、1968年	現物撮影	日本テレビ	日本テレビ 「1億3000万人のSHOWチャンネル」 (9/16放送)にて現物紹介
・ 「週刊少年ジャンプ」1973年第25号 (中沢啓治「はだしのゲン」第1回掲載号)、集英社、1973年	現物撮影	讀賣テレビ	讀賣テレビ 「ウェークアップ」(8/5放送)にて現物紹介
・ 仮名垣魯文、河鍋暁斎『絵新聞日本地』創刊号、1874年、表紙	画像データ	スタッフラビ	NHK総合 「チョコちゃんに叱られる!」 (12/8放送)にて紹介

原画'(ダッシュ) プロジェクト

実施概要 「原画'(ダッシュ)」(以下「原画ダッシュ」)とは、コンピューターに原画を取り込んで色調整を重ねた上で印刷された、原画と並べても見分けのつかないほど精巧なマンガ原稿の複製である。退色しやすいデリケートなマンガ原稿の保存と公開を両立させるために開発され、マンガ家で京都精華大学元学長/元国際マンガ研究センターセンター長の竹宮恵子氏をプロジェクトリーダーに、国際マンガ研究センターと京都国際マンガミュージアムが共同で研究を進めている。●原画ダッシュプロジェクトでは、2001年以来、監修者・竹宮氏を含む作家28名の約900点の原画ダッシュを制作してきた。●2023年度には、イラストレーター・田村セツコの新規原画ダッシュを31点制作した。●また、2011年に刊行された図録『少女マンガの世界～原画'(ダッシュ)10年の軌跡～』の第2弾として、2012年以降プロジェクトに参加した作家とその作品を紹介する図録『もうひとつの原画～原画'(ダッシュ)20年の軌跡～』を制作し、出版した。

基本情報

担当

ユースギョン

国内外における原画'(ダッシュ)の活用 原画'(ダッシュ)は、破損や紛失したら取り返しが見つからない原画に替わって、国内だけでなく、フランス、ドイツ、オーストラリアなど、海外の展覧会にも積極的に出品されてきたが、コロナ禍の影響がまだ続くこともあり、2023年に新規出展はなかったものの、2020年2月にインドで開かれた「ShojoManga: An Introduction」展がインド各地を巡回した。(詳細についてはp.33参照)

IMRCメンバー業績等(2023年1月-12月)

業績一覧

小泉真理子 Koizumi Mariko	学会発表	<ul style="list-style-type: none"> 「日本の伝統実演芸術に包含されている持続可能な経営の仕組みに関する研究:能を事例として」日本文化政策学会第16回年次研究大会(於・芸術文化観光専門職大学、2023年3月9日)
	研究助成	<ul style="list-style-type: none"> 科学研究費助成事業(基盤C) 「日本の能楽から解明する伝統実演芸術の経済的自立手法に関する実証研究」研究代表者
	新聞記事	<ul style="list-style-type: none"> 「アニメ「ポケモン」四半世紀 色あせない冒険の魅力」(日本経済新聞夕刊、2023年3月20日)記事内インタビュー
	社会活動	<ul style="list-style-type: none"> 総務省情報通信政策研究所 特別研究員 情報通信学会学会誌 理事 及び 編集委員 文化経済学会(日本)学会誌 編集委員
伊藤遊-イトウユウ Ito Yu	論説	<ul style="list-style-type: none"> 「マンガから考える〈縮小社会〉/〈縮小社会〉から考えるマンガ」山田奨治・編『縮小社会の文化創造附:「縮小社会のエビデンスとメッセージ」展の記録』思文閣出版、2023年8月
	コラムなど	
	講演など	<ul style="list-style-type: none"> ファンリテート「MAGMA Sessions 2022 大学でメディア芸術作品をアーカイブする意義 学外の連携と分野横断に向けて」(オンライン公開、2023年2月21日、文化庁・主催)(https://macc.bunka.go.jp/766/) 講演「視覚文化連続講座シリーズ3 第8回 マンガとミュージアム マンガは「アート」「文化」なのか!」(於・平安女学院大学京都キャンパス、2023年4月22日、公益財団法人きょうと視覚文化振興財団/京都新聞・主催) 講演「オープン!漫画ミュージアム! 2023国際セミナー 探求!漫画の世界 台日漫画研究の国際交流」(オンライン、2023年10月15日、国立台湾歴史博物館・主催) 審査員「第1回 台湾漫画知的書評合戦(決勝)」(於・東呉大学[台湾]、2023年11月25日、東呉大学/京都精華大学・主催) 講演「マンガビジネスの可能性と困難」(於・RENTAL SPACE min-pack pack02、2024年1月11日、MCEI大阪支部・主催) 講演「マンガを(アーカイブ)するということ」(於・京都国際マンガミュージアム、2024年1月16日、淑明女子大学・主催)
	展覧会	<ul style="list-style-type: none"> テキスト執筆(「歴史・伝記学習まんがのおもしろさ」)「マンガのなかの徳川家康展 描かれた家康像」(於・トキワ荘通り昭和レトロ館、2023年11月10日[金]-2024年1月14日[日])
	制作協力	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 科学研究費助成事業(基盤C)「「学習マンガ」の表現構造と制作現場における意味生成プロセスの実証的研究」(研究代表者=山中千恵)研究分担者 科学研究費助成事業(基盤C)「1930-50年代児童雑誌における「学習マンガ」ジャンルの形成に係る実証的研究」(研究代表者=瀧下彩子)研究分担者 挑戦的研究(萌芽)「メディア文化研究における研究データ蓄積・共有環境のモデル構築」(研究代表者=喜多千草)研究分担者 文化庁メディア芸術連携等基盤推進事業 「マンガ原画アーカイブセンターの実装と所蔵館連携ネットワークの構築に向けた調査研究」 「マンガ刊本アーカイブセンターの実装化と所蔵館ネットワークに関する調査研究」コーディネーター支援 文化芸術振興費補助金メディア芸術アーカイブ推進支援事業協力者会議委員 熊本県湯前町まんがのまちづくりアドバイザー
具本媛 Koo Bon Won	講演など	<ul style="list-style-type: none"> 講演「国際交流公開講座 講演 ドイツと日本のマンガ事情」(於・鳥取本庁麒麟Square 2階多目的室1、2023年3月18日、鳥取市・主催) 講演「日本Webtoon市場進出戦略セミナー 見本マンガ高等教育の現状と展望」(オンライン開催、2024年1月16日、チョンガン大学・主催) 審査員「AsiaPOP Manga Art Contest」(University of Idaho、2023年8月、University of Idaho・主催) 講演「京都体感フェア アニメ制作による観光へたまこまーけっとのシリーズと映画を例に〜」(オンライン講演/Altes Pfandhaus内ホール[ドイツ]、2023年11月4日、5日、京都市・主催) 講演「文化庁メディアクリエイター育成支援事業青果発表イベント-マンガの新機軸-縦読みマンガが拡張する物語-」(於・FabCafe東京、2024年2月21日、文化庁・主催)
佐々木美緒 Sasaki Mio	論文・報告等	<ul style="list-style-type: none"> 「Udemy Businessを活用した大学教育プログラムの実践及び検証プロジェクト」『京都精華大学紀要』第56号、京都精華大学、pp.241-251、2023年3月
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 丸善雄松堂株式会社児童サービス担当者研修講師(オンライン、2023年9月7日)
	研修講師	<ul style="list-style-type: none"> 丸善雄松堂株式会社情報リテラシー研修講師(オンライン、2023年11月25日)
住田哲郎 Sumida Tetsuro	学会発表等	<ul style="list-style-type: none"> 「文字による日本語キャラクターの創出と役割語度に関する一考察」第60回表現学会全国大会(於・神奈川大学、2023年6月4日) 「役割語とは?—キャラクター言語から漫画を読む—」KINDAIマンガカフェ(於・近畿大学、2023年11月16日) 「マンガで学ぶ日本語2」東洋大学国際教育センター・ゲストスピーカー講演会(オンライン、2023年12月12日)
	学術貢献活動	<ul style="list-style-type: none"> 大学コンソーシアム京都 FDフォーラム企画検討委員会委員 日本語プロフィジェンシー研究学会 学会誌編集委員会副委員長 公益社団法人日本語教育学会 審査・運営協力員

<u>社会貢献活動</u>	・ NPO法人神戸定住外国人支援センター 定住外国人子ども奨学金実行委員会委員 メディア出演
<u>メディア出演</u>	・ 「台湾マンガ×日本語」ビブリオバトルの仕掛け人に話をきいてみた！ アスク出版 日本語チーム 日本語教育「いどばた」(2023年11月18日)(https://www.idobata.online/?p=3971)
<u>その他</u>	・ 京都精華大学・東興大学の共催イベント「台湾漫画知的書評合戦」企画立案・運営 (於・東興大学、2023年11月25日〔決勝戦〕)

松下哲也 Matsushita Tetsuya	<u>論説</u>	・ 「消えた彫刻——自己模倣の象徴としてのアリアドネ」 『現代思想 2023年10月臨時増刊号 総特集 宮崎駿『君たちはどう生きるか』をどう観たか』 青土社、2023年9月
	<u>書評</u>	・ 鈴木敏夫責任編集『スタジオジブリ物語』書評『週刊読書人』2023年9月1日
	<u>座談会</u>	・ 松下哲也×大井昌和×さやわか「いまこそ語ろう、ゼルダの伝説 ——『ティアーズ オブ ザ キングダム』と任天堂の軌跡」(ゲンロンカフェ、2023年7月22日)

ユースキョン Yoo Sookyung	<u>学会発表・講演など</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学術発表「Korean Manhwa/Webtoons in the Japanese Market」2023 ASIA Creative Content Forum: Exploring Regional Storytelling Contents (於・マレーシア・クランタン大学、2023年2月) ・ 学術発表「The status of manga in North-West African countries」2023 Mechademia International Conference in Kyoto “Aftermath” (於・京都国際マンガミュージアム、2023年5月) ・ 講演「Manga du réel」(於・ストラスブール国立大学図書館〔フランス・ストラスブール〕、2023年6月) ・ 講演「京都国際マンガミュージアムの展示経験について」(オンライン、2023年10月、国立台湾歴史博物館・主催) ・ 講演「La bande dessinée dans le monde」コンゴ共和国Bilili BD Festival (オンライン、2023年12月) ・ 講演「アフリカマンガ展」京都新聞総合研究所提携講座アートサロン(於・佛教大学、2023年12月)
	<u>コラムなど</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「アルジェリア」[アルジェ国際コミックフェスティバル(FIBDA)]レポート『メディア芸術カレントコンテンツ』2023年3月(https://macc.bunka.go.jp/987/) ・ 「現実とマンガの関係を考える」[フランス(現実)のコミック、新しい形のジャーナリズム? (La bande dessinée du réel, une nouvelle forme de journalisme?)]展レポート『メディア芸術カレントコンテンツ』2023年8月(https://macc.bunka.go.jp/2442/) ・ 書評「AIが作る(新しい)マンガの世界? —『サイバーバンク桃太郎』」『漫画批評10』正音書院〔韓国〕、2023年10月
	<u>セミナー・ワークショップなど</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企画・運営「マンガワークショップ: Comment utiliser les vignettes?」コートジボワールのマンガ制作グループ・Ultimes Griotsとの共催(オンライン〔コートジボワール〕、2023年1月) ・ 企画・運営「マンガワークショップ」駐セネガル日本大使館の後援を受け、京都精華大学アフリカ・アジア現代文化研究センターの主催で開催(於・ダカール駅〔セネガル・ダカール〕、2023年3月) ・ 企画・運営「マンガワークショップ」フランス政府の「文化パス」(Passe culture)プログラムの一環としてストラスブールの中学校でマンガワークショップを開催(於・Collège Stockfeld Strasbourg〔フランス・ストラスブール〕、2023年6月) ・ 出演「高校生と日本語学習者向けアニメーターディング 2023」一般社団法人アニメーターディングらぼ(オンライン、2022年12月)

吉村和真 Yoshimura Kazuma	<u>著作</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「第4章「マンガ」「芸術」と自由」ウスビ・サコ・編『不自由な社会で自由に生きる「自由論」講義録』光文社、2023年、95頁-116頁(安田昌弘との共著) ・ 監修:津島つしま・著『LLマンガ つたえたいきもち』樹村房、2023年(藤澤和子との共監修)
	<u>論説</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「「マンガ」と「障害」の多面的な関係」山田奨治・編『縮小社会の文化創造』思文閣、2023年、172頁-173頁 ・ マンガ紹介:沖田×華『不浄を拭う人』、『マンガ龍池小学校史』、Q.B.B『古本屋台』、山下和美『天才 柳沢教授の生活』、吉村和真・編著『障害のある人たちに向けたLLマンガへの招待』山田奨治・編『縮小社会の文化創造』思文閣、2023年、212頁/214頁-215頁
	<u>書評</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 『毎日新聞』「話題の本」連載(2022年10月-) <ul style="list-style-type: none"> ・ トマトスープ『天幕のジャードゥーガル』1月21日付13面 ・ 高橋よしひろ『銀河少年伝説 ドッグデイズ』2月25日付13面 ・ 小田扉『フランチャイズ! つくだ☆マジカル』4月1日付13面 ・ 集英社『他タメジャンプ 2023 SPRING』5月6日付13面 ・ のりつけ雅春『マイホームアフロ田中』6月3日付15面 ・ 山田金鉄『テレファク与太話』7月8日付13面 ・ ジョー・サッコ著、小野耕世訳『パレスチナ 特別増補版』8月19日付13面 ・ 魚乃目三太『はらべこ銀河』9月30日付13面 ・ エルド吉水『龍子 RYUKO』11月11日付13面 ・ 時事新報配信、『陸奥新報』8月19日付、『デーリー報告』8月20日付、『島根日日新聞』8月22日付、『京都新聞』9月9日付、『静岡新聞』9月10日付等、複数の新聞に掲載 ・ 細馬宏通『フキダシ論 マンガの声と身体』青土社、2023年

新聞記事

- ・ 2023年5月4日付『中日新聞』8面(岐阜県版)「マンガで読む地方の時代 上・舞台の多様化」
「方言や名所 岐阜が満載」に識者としてコメント。
- ・ 2023年5月5日付『毎日新聞』3面「質問なるほドリ」「映画「スラムダンク」なぜ人気？」に識者として質問に回答。
- ・ 『朝日中高生新聞』2023年6月4日付「連載50年 はだしのゲン 戦争を漫画で知る」特集(1-3面)中
「中高生におすすめの漫画」(2-3面)を寄稿。
- ・ 『日本経済新聞 NIKKEIプラス1』2023年6月10日付
「何でもランキング」[アニメ・映画 作品の世界へ](1-2面)に識者として候補先25ヶ所の選定を担当。
- ・ 『毎日新聞』2023年6月20日付夕刊2面(特集ワイド)「戦争の理不尽と人間愛」
「連載開始50周年「はだしのゲン」」[広島市教委の教材削除機に売り上げ急増]に識者としてコメント。
- ・ 『読売新聞』6月24日付夕刊9面「学校図書室マンガ充実」識者「選ぶ基準明確に」
「読む生徒 読解力高い傾向」に識者としてコメント。
- ・ 『読売新聞』8月1日付27面「関心アリ!」[シニア主人公 漫画に共感]
「80歳女性をありのまま描く」に識者としてコメント。
- ・ 『中国新聞』8月6日付11面広島版「ゲンと私と「はだしのゲン」連載開始50周年④」
「京都精華大の吉村和真教授に聞く」「子ども熱中 傑作の少年マンガ」
「当時を生きた人の心 考えて」にインタビューとして登場。「吉村教授の読んでほしいこの2冊」を寄稿。
- ・ 『神戸新聞』8月6日付7面「編集委員インタビュー 京都精華大学マンガ学部教授
吉村和真さん(51)に聞く 戦争漫画の読み解き方、教えてください」
「多様で複雑な一大分野/読みやすさが実相伝える」にインタビューとして登場。
- ・ 『朝日新聞』夕刊9月16日付「漫画で共感 老い・終活のリアル」[30代～シニア世代 幅広く人気]
「将来の予習 ■「高齢女性が主人公」テーマ拡大」に識者としてコメント。
- ・ 『北海道新聞』11月28日付12面「支え合っくらし」の「他者への想像力 漫画で」
「不登校、ヤングケアラー、性的少数者…」「登場人物に共感しやすく 理解への一歩に」
「LLマンガ」誰でも読みやすく」に識者としてコメント。

学術イベント

- ・ 講演:立命館大学国際アートリサーチセンターセミナー講演
「マンガのミュージアム/アーカイブ/ネットワーク—京都精華大学の場合—」(オンライン、2023年6月7日)
- ・ シンポジウム/司会:令和5年度文化庁メディア芸術連携基盤等整備推進事業分野別強化事業
「マンガ刊本アーカイブセンターの創設に向けて」(明治大学、2023年10月21日)

講演活動

- ・ 「マンガと偏見の複雑な関係」(精華町講演会、2023年1月31日)
- ・ 「マンガが伝える戦争—戦争表現の多様性と可能性—」
(空がつかなくまち・人づくり推進協議会 基調講演+シンポジウム、2023年2月11日)
- ・ 「マンガと芸術の複雑な関係—マンガは本当に「わかりやすい」のか—」
(京阪沿線ふらり芸術(アート)めぐり 後編 アート講座Vol.5、2023年3月4日)
- ・ 「差別と向き合うマンガたち—登場人物の“見た目”と“話し方”から考える—」
(大阪府教職員組合講演会、2023年3月11日)
- ・ 「差別と向き合うマンガたち—登場人物の“見た目”と“話し方”から考える—」
(高槻市立春日ふれあい文化センター講演会、2023年3月24日)
- ・ 「マンガから読み解く人権」(高槻市真上小学校PTA主催講演会、2023年6月17日)
- ・ 「マンガから考えるジェンダー—ジャンル・歴史・表現—」
(2023男女共同参画市民フォーラムinいゝわみざわ、2023年6月25日)
- ・ 「マンガから読み解くステレオタイプ—登場人物の“見た目”と“話し方”から考える—」
(令和5年度 北清水講演ふれあいアップ講座、2023年6月27日)
- ・ 「差別と向き合うマンガたち—登場人物の“見た目”と“話し方”から考える—」
(奈良市人権教育推進協議会 人権講座、2023年7月4日)
- ・ 「マンガと偏見の複雑な関係—メガネ男子や方言女子が主人公になれない理由—」
(令和5年度 奈良県川西町 差別を無くす町民集会、2023年7月8日)
- ・ 「マンガから読み解く人権」(高槻市第九中学校区地域協議会人権講演会、2023年7月15日)

社会貢献

- ・ 文化庁令和5年度メディア芸術連携基盤等整備推進事業の分野別強化事業
「マンガ原画アーカイブセンターの実装と所蔵館連携ネットワークの構築に向けた調査研究」
「マンガ刊本アーカイブセンターの実装化と所蔵館ネットワークに関する調査研究」
アドバイザーのほか、戦略委員、有識者検討委員、自治体連携会議コーディネーター
- ・ 文化庁令和5年度文化芸術創造拠点形成事業審査員
- ・ 日本芸術院令和5年度外部有識者
- ・ 一般社団法人「マンガアーカイブ機構」業務執行理事(2023年5月就任)
- ・ その他、高知県、横手市、鳥取県、北栄町、淡路市、八幡市など複数の自治体で、
マンガに関するアドバイザーや委員等を務める。

その他

- ・ マンガに関するコメンテーターとして、全国ネットのテレビ・ラジオに複数回出演。